環境管理 人間の安全保障、SDGsへの貢献

人間の安全保障における環境管理の重要性

水や大気などの環境は、人々が健康で安全な生活を確保するために欠かせない公共財です。しかし、途上国では適切な環境管理が行われておらず、特に貧困層をはじめとする社会的弱者ほど、大気や水の汚染による生活環境の悪化や健康リスクに直面しています。そのため、適正な汚染対策や廃棄物管理によって汚染を制御し、健康で健全な生活環境の中で暮らす権利を確保することは、人間の安全保障を実現するために不可欠です。

人間の安全保障のアプローチの実践を通じたJICAの貢献

JICAは、開発に伴う環境汚染の脅威に対処し、健康で安全な生活環境を確保することで、環境と調和した持続可能な発展を促進し、途上国の成長を支えています。このため、JICAクリーン・シティ・イニシアティブ（JCCI） を通じて、都市部を中心に環境管理の強化に取り組み、廃棄物や水・大気の汚染、健康被害を引き起こす環境問題に対応し、きれいな街づくりを推進しています。

また、JICAは「保護」と「エンパワメント」を組み合わせた支援を行い、JCCIの目標である健康で安全な生活環境の確保に貢献しています。「保護」 として、ごみの発生抑制や適切な廃棄物管理のための政策づくり、環境規制の強化、汚染物質の調査支援、人材育成を進めています。一方、「エンパワメント」として、住民や地域社会の主体的な環境保全を促すため、意識向上や参加促進を推進しています。

SDGsへの貢献

SDGsゴール6「安全な水とトイレを世界中に」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール12「くる責任つかう責任」、ゴール14「海の豊かさを守ろう」、特に以下のターゲットの達成に貢献します。

6.2 ：すべての人々の下水施設・衛生施設へのアクセス達成、野外排泄の撲滅
6.3 ：未処理の排水の半減や水の再利用の増加等による水質改善
11.6：都市の一人当たりの環境上の悪影響の軽減（含大気質、廃棄物管理）
12.4：化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の大幅な削減
12.5：発生抑制と 3R 等を通じた廃棄物の発生の大幅な削減
14.1：あらゆる種類の海洋汚染の防止と大幅な減少

CASE 取組事例

南スーダンにおける適切な廃棄物処理できれいな街づくり

南スーダンの首都ジュバ市では、2011年の独立以降の急速な人口増加に加え、40年以上に及ぶ内戦の影響や度重なる暴動や深刻な財政難のため、廃棄物管理の処分場や機材が著しく不足しています。その結果、廃棄物の収集率はわずか10%程度にとどまり、野焼きや河川投棄が横行し、特に低所得者をはじめとする社会的弱者が多く住む地域で衛生環境の悪化や健康被害が深刻化しています。こうした状況を受け、JICAは収集・運搬・最終処分に必要な機材の供与や市職員の能力強化を行い、適切な廃棄物管理が実現するよう支援しています。さらに、清掃キャンペーンを推進し、市民とともにきれいな街づくりを進め、安全で衛生的な生活環境の実現に貢献しています。

ジュバ市におけるクリーンアップ・キャンペーンの様子